

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	原発性アルドステロン症病型診断における活性型レニン濃度の有用性		
1. 研究の目的と方法	原発性アルドステロン症の方の診断においては手術で改善が期待できる片側副腎からのアルドステロン過剰分泌がある患者さんを発見することが非常に重要と考えられております。われわれは東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科において2010年1月1日から2025年12月31日まで1つ以上の負荷試験（カプトプリル負荷試験、生理食塩水負荷試験、立位フロセミド試験）の陽性が確認され、かつ副腎静脈サンプリング検査で片側副腎もしくは両側副腎からのアルドステロン過剰分泌があると判定された方において、負荷試験時に従来の血漿レニン活性という値を用いた診断基準と新規の活性型レニン濃度という値を用いた診断基準のどちらに優位性があるか検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2010年1月1日から2025年12月31日に東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科においてカプトプリル負荷試験、生理食塩水負荷試験、立位フロセミド負荷試験のうちから1つの負荷試験で原発性アルドステロン症の診断にいたり、副腎静脈サンプリング検査を行った結果、片側性もしくは両側性の過剰分泌が確認された方のうち、18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、体重、内服内容、検査結果（血液検査、随時尿検査、畜尿検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科
		氏名	木戸口 慧
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学附属病院 木戸口 慧	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年6月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究責任者：助教 木戸口 慧（きどぐち さとし） 電話番号：附属病院：03-3433-1111（内線：3221） 対応時間：平日9：00～17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。